



官庁団体役員 上場企業役員会

昭和13年寅年会

〒540-0026 大阪市中央区本町1の2の14 秀和ビル6階 大阪経済倶楽部内 06-946-0025 FAX.06-946-0022 昭和13年寅年・関東・東海・近畿官庁団体役員・上場企業役員会 幹事 濱田 守久

上海市の公共事業について

2月12日上海市副市長趙正氏講演

大阪経済倶楽部

会長

濱田 守久 (高知)



寅年会全国大会
8月27日東京で会いましょう。

新年あけましておめでとございます。いよいよ寅の年を迎えました。我々にとつて最良の年になりますよう心より願っております。昨年12月1日より4日まで大阪経済倶楽部理事の案内にて上海市における公共事業を直接お聞するため上海に行き(株)日中経済総合研究所日本事務所主任研究員方五二・陳為氏の案内のもと上海市を代表する方々とお会いさせていただき昼も夜も最高の接待をうけ心より感謝の気持ちでいっぱいです。

上海でお会いさせていただいた主な方々は、上海副市長趙正氏、上海市日本学会会長郭烈、(株)日中経済総合研究所董事駐中國首席代表王金朝・上海市法学会副会長顧宥榮・上海久事公司副總經理高國富・上海景鴻有限公司董事長郁惠其・上海鐵路軌道交通發展總公司副總經理萬方・上海新世紀股份有限公司董事長李金國各氏、香港より北京經由にて兄弟の交際をさせていただいて香港亞倫集團有限公司董事長賀亞寧氏、上海市副市長趙正氏を市役所にたずね直接主要なプロジェクト、上海市南駅総合開発、環境線の問題など詳しくお聞きしました。現状の問題につきましても、上海鐵路局軌道交通開發總公司副總經理葛方主任王增祥氏がわざわざホテルまで見えて1時間にわたり熱気あふれる意見を交換

の土台になろうとしていました。十年を待たずして、日本の人口が減少に転じ、一挙に超高齢社会が到来するでしょう。他方、途上国では人口爆発がつづき、人類と地球社会との共生が大きな課題となることは、必定です。コースの風景が様変わりしていくなかで、変化を見定め、二十世紀の産業文明を超える未来社会形成のお役に立ちながら、自分流のラウンドをしようではありませんか。

平成十年は寅年、一干支(えと)がひとまわりして、われら昭和十三年生れが還暦を迎える歳です。一昔前までのように赤いチャンチャンコで祝うには若すぎる、というのが還暦目前の偽らざる実感ですが、人生の大きな節目であることに、異論ありません。還暦は、ゴルフでいえば、ワン・ラウンドを終えて、再びアウトの一番に戻った時とどこか似ています。六十年に及ぶラウンドを顧みると、まぐれのニアピンや幸運のバーディもあれば、涙のOBや痛恨の三パットもあって、痛快と悔恨、満足と反省の想いが交差しているのです。結果はともかく、十八ホール廻ったことを、おのが人生六十年の軌跡を、素直に受け止め肯定しようじゃありませんか。有森祐子さんのように

還暦から ハーフ・ラウンド

海外経済協力基金

副総裁

長瀬 要石 (長野)



「自分を誉めてあげたい」などとはとてもいえないまでも、六十才の日本人の平均余命は、二十三才(男二〇・三才、女二五・三才)。あとハーフ、なん

とかラウンドできる持ち時間があることを、共に喜ぶたいのです。残りハーフは、かなり自由度が高いこと、請負です。散歩のつもりでノンビリ廻るもよ

し、カートに乗るもよし、腰に気付薬のヒョウタンをぶらさげてチビチビ飲みながらのラウンドも、いっとうお構いなしです。逆に、いままでは練習ラウンドだ、これから本番だと意気込むのも、遅咲きの美学かもしれない。いずれにしても、限られた持ち時間の価値を極大化し、心底自分らしい実りある「黄金の六十才白」を設計するときです。思いをいだくのです。ところで、二十一世紀への巨大な潮流が足元に迫っています。コースのコンディションは、急変していくと思われまます。

日本経済が世界経済と融合し、ひとつの地球市場経済の時代に入つつあります。若い世代に「ウェブ・ライフスタイル」が拡がり、開かれた情報ネットワークが新しい知識社会

Sun-Unity



総合コンサルティング
敷地の有効活用
企画建築及び分譲販売
都市計画
福祉事業
環境開発
物流企画及び物流業務全般

ザ・チャレンジ

21世紀への街づくり

◆社団法人 再開発コーディネーター協会 会員
◆社団法人 全国市街地再開発協会 会員
◆社団法人 日本宅地開発協会 会員

株式会社 サン・ユニティー

代表取締役 宮本 清

〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目36番10号(松岡第2ビル701)
TEL(052)561-7101(代) FAX(052)561-7103

人生の転換期

—一年に一度は必ず健康診断を—



農畜産業振興事業団
副理事長

武智 敏夫 (愛媛)

明けまして、おめでとうございます。今年、我々の生れた寅年、そして六十才を迎える還暦の年でもあります。早いもので、昭和十二年寅年会が発足して十周年をを迎えます。我々寅年生れの者にとつては、大変意義深い年でもあります。

しかし、他方で、男の六十才は厄年に当たっております。何事にも節目があるように、人間の身体も、六十年もフル回転してくると、自然自然にどこかにいつの間にか、無理が生じて来るのでしよう。そういう意味で、現在、元気はつらつ仕事をさ

れている寅年の人も、くれぐれも自分の健康のことをもう一度考え直してみることがあります。私は、忘れもしない昨年八月十四日、私の満五十九才の誕生日に食道と咽喉の癌の宣告を受けました。それまで農林省に昭和三十六年に入省以来、一日も休むことなく勤めあげ、また、中学校二年生の盲腸手術以来、一度も入院したことがなかっただけに、正に「青天のへきれき」以外の何ものでもありませんでした。そして、十一時間も及ぶ手術を受け、一ヵ月後の十一月下旬

に帰宅を許されました。癌の宣告を受ける以前も、又以降も、何の痛みもなく、元気一杯で、食事にせよアルコールにせよ、何ら格別変わったこともなかった。ガンは宣告はシヨック以外の何ものでもありませんでした。しかし、レントゲン写真を見せられ、ここが腫瘍の部分と云われると確かに小指の先の半分の位置にあることも明らかでした。そして、このまま放置した場合、食事が喉を通らなくなるばかりでなく、気管が圧迫され、呼吸もできなくなると云わ

れました。そこまで云われれば、医者を信ずる他ありません。即座に入院し、腫瘍の場所が下咽喉であったため、手術は声帯を切除せねばならず、手術後は声を出せない状態になりました。結局、食道、咽喉、胃の一部、頭部腫瘍、甲状線を切除するという大がかりなものとなりました。でも、考えてみれば、生命が助かったことに感謝すべきかもしれませぬ。また、早期(初期ではない)に発見できたから手術が可能だったけれど、若し、もっと放置していれば、他の部位に転移し、生

命を失うことになっていたらかもしれないと思ふと不幸中の幸と考へるしかありません。今後は、訓練を繰り返していつの日か自分の声が出せるようになりたいと念じております。新年というおめでた

いときに、このような話は、ふさわしくないとは思いましたが、私も寅年の人間、他の十三年寅年の方も、いつ私と同じようにならないとも限らないという意味で、皆さんが一年に一度は必ず健康診断を受けられることをお勧めして筆をおく次第です。



寅年雑感

日本板硝子株式会社
常務取締役

相楽 敏夫 (東京)

た欧州や中東の古い街並みというのが首都「チュニス」の印象でした。カルタゴの遺跡や延々と続く水道橋を眺めていると、近代的な科学技術を持たない古代の人々の知恵とパワーに圧倒される思いでした。今でもその時の驚きと感激が新鮮に思い出されます。こんな海外旅行を、一二年に一回、そして国内の温泉、名所巡りを年二回位やれたらいいなと夢見ています。あとやりたいことといえば、パソコンで国内外の色々な情報にアクセスしたり、キーボードを接続して、編曲作曲や演奏を楽しむ事。

新年明けましておめでとございます。旧年中大変お世話になりました。厚く御礼申し上げますとともに、本年も御指導御鞭撻を賜ひ致しますよう宜しくお願い致します。さて、本年度は寅年、私達昭和13年寅年の会の各位とともに、今年こそ素晴らしい年でありますよう祈念せずにはおられません。

新年明けましておめでとございます。旧年中大変お世話になりました。厚く御礼申し上げますとともに、本年も御指導御鞭撻を賜ひ致しますよう宜しくお願い致します。さて、本年度は寅年、私達昭和13年寅年の会の各位とともに、今年こそ素晴らしい年でありますよう祈念せずにはおられません。

私達は、20世紀も幕引きを目前にして、21世紀にわたって生を受けることができる私達は、大変幸せであります。であるが故に、立派な日本と世界の21世紀を確実なものにするために、私達の目で、手で、力で、しっかりととしたものに作りあげ、後世に引き継いでいきたいものです。60才還暦前後の方々

私達(昭和二桁組)が、日本の各種職の責任者である割合は大変高く、文字どおり日本を動かす存在であるし、また、そうでなくてはなりません。いろいろ多くの分野で、この急転換をせまられている経済社会の構造に大胆に舵を取っていくのが、私達の責任でありましょう。60才はもう年寄りとして自ら老成してしまふのは大変残念なことです。昭和13年寅年生まれは、今年こそ燃えなければならぬのではないのでしょうか。もとより柔軟な発想をもつ若い世代に付き合えるには、余程の好奇心をもつて、何でもやってみようという気持を持ち

命を失うことになっていたらかもしれないと思ふと不幸中の幸と考へるしかありません。今後は、訓練を繰り返していつの日か自分の声が出せるようになりたいと念じております。新年というおめでた

いときに、このような話は、ふさわしくないとは思いましたが、私も寅年の人間、他の十三年寅年の方も、いつ私と同じようにならないとも限らないという意味で、皆さんが一年に一度は必ず健康診断を受けられることをお勧めして筆をおく次第です。

13年寅年の皆さん、明けましておめでとございます。いよいよ私達の干支ですね。人生ひと回りをした年頭は、何だか格別の思いで迎えるような気がします。今までの人生を振り返ってみますと、皆さんと同様、仕事を最優先させた毎日であったようです。営業担当のせいもあり、最近是一段とひどくなり、土、日に家でゆっくりすることも、ままならなくなっています。日頃、「良く学び、良く遊ぶ」とか、「忙中閑あり」をモットーとしている身としては、不甲斐ない

限りです。そういう意味では、還暦を機に、今まではひと味違う生活をトライしてみたいんじゃないかと思っています。「じゃあ、どんな生活をしたいのか?」と確認されると、直ちに明快な返事が出来る訳じゃないのですが……。昨夏、家内を連れて学生時代の友人達と「チュニジア」へ一週間の旅行をしました。初めてのアフリカでしたが、我々がイメージするアフリカという感じよりは、むしろ、明るい地中海を背景とし

た欧州や中東の古い街並みというのが首都「チュニス」の印象でした。カルタゴの遺跡や延々と続く水道橋を眺めていると、近代的な科学技術を持たない古代の人々の知恵とパワーに圧倒される思いでした。今でもその時の驚きと感激が新鮮に思い出されます。こんな海外旅行を、一二年に一回、そして国内の温泉、名所巡りを年二回位やれたらいいなと夢見ています。あとやりたいことといえば、パソコンで国内外の色々な情報にアクセスしたり、キーボードを接続して、編曲作曲や演奏を楽しむ事。

新年明けましておめでとございます。旧年中大変お世話になりました。厚く御礼申し上げますとともに、本年も御指導御鞭撻を賜ひ致しますよう宜しくお願い致します。さて、本年度は寅年、私達昭和13年寅年の会の各位とともに、今年こそ素晴らしい年でありますよう祈念せずにはおられません。

私達の徳を次の世代へ

住宅・都市整備公団
副総裁

鹿島 尚武 (東京)



(昭和二桁組)が、日本の各種職の責任者である割合は大変高く、文字どおり日本を動かす存在であるし、また、そうでなくてはなりません。いろいろ多くの分野で、この急転換をせまられている経済社会の構造に大胆に舵を取っていくのが、私達の責任でありましょう。60才はもう年寄りとして自ら老成してしまふのは大変残念なことです。昭和13年寅年生まれは、今年こそ燃えなければならぬのではないのでしょうか。もとより柔軟な発想をもつ若い世代に付き合えるには、余程の好奇心をもつて、何でもやってみようという気持を持ち

私達は、20世紀も幕引きを目前にして、21世紀にわたって生を受けることができる私達は、大変幸せであります。であるが故に、立派な日本と世界の21世紀を確実なものにするために、私達の目で、手で、力で、しっかりととしたものに作りあげ、後世に引き継いでいきたいものです。60才還暦前後の方々

私達(昭和二桁組)が、日本の各種職の責任者である割合は大変高く、文字どおり日本を動かす存在であるし、また、そうでなくてはなりません。いろいろ多くの分野で、この急転換をせまられている経済社会の構造に大胆に舵を取っていくのが、私達の責任でありましょう。60才はもう年寄りとして自ら老成してしまふのは大変残念なことです。昭和13年寅年生まれは、今年こそ燃えなければならぬのではないのでしょうか。もとより柔軟な発想をもつ若い世代に付き合えるには、余程の好奇心をもつて、何でもやってみようという気持を持ち

命を失うことになっていたらかもしれないと思ふと不幸中の幸と考へるしかありません。今後は、訓練を繰り返していつの日か自分の声が出せるようになりたいと念じております。新年というおめでた

継続しなければならぬと思ひます。例によつて、最後の(?)青春を呼び戻さなければなりません。そのためには、何とでも「健康」が第一であることは申すまでもありません。名世話役濱田氏のお陰をもつて、昭和13年寅年の会が設けられていますが、緩やか連帯のもとに、各位が元気に活躍できますよう、健康法を大いに論じ、実践していきたいものです。その道に大道はない(?)のかも知れませんが、(自原英幹)養生訓が、隠れた人気を新たにしているようです。「抑制」が第一なのでしようか。今年こそ、各位の健康法を大いに語ってほしいと思ひます。かく申す私には、これぞというものはなく、会員各位のお知恵をお借りしたいと思つております。

本年も、会員各位が一層御健康で御活躍なされますよう心からお祈り致します。

命を失うことになっていたらかもしれないと思ふと不幸中の幸と考へるしかありません。今後は、訓練を繰り返していつの日か自分の声が出せるようになりたいと念じております。新年というおめでた



1998年水都が創る

SUITO

水都建設工業株式会社

代表取締役 岡田直樹

本社 〒540-0036 大阪市中央区船越町1丁目5番2号
TEL (06) 942-4161 FAX (06) 945-0202
支店/東京・奈良・兵庫・寝屋川・八尾・門真・堺・東大阪



「巨人・大鵬・卵焼き」の懐かしい時代から縁あって未だに卵と関わっております。今、私のおりませ会社は、一年間に日本の卵消費量の約九パーセントに相当する四十億個を超える卵を使用しており、いきおい私も卵の話題に事欠かない中におります。卵は栄養価に富んで美味しく食べられるだけでなく、本来の役割は雛を孵すことにあります。実際に生を授かった卵は二十一日間ただ温めるだけで雛に孵るわけ、自然の偉大さに驚かされます。日頃から卵の恩恵に浴している私どもではそこに秘められた生理

卵 雑 感

キュービー株式会社 専務取締役

大山 轟介 (石川)

私は、明治生まれの蛇と鶏の両親から、中国天津市日本租界で生まれた中国虎である。七人の子の中の一匹虎だ。三匹の虎が家族にいと幸せが来るとのことだが、二匹であった。女房の母虎が参加して三匹となった。家族の繁栄を願っての言い伝えだろう。少子化時代の日本の現在では、暫く現実出来ないことだろうが、幸せは実現してほしいものだ。戦前は、天津、濟南、北京、包頭と北支を歩きまわり日本に帰国した。虎の食物のない焼野

原だった。五十年経過し、日中国交回復25周年を迎え、私も、生まれ故郷と日本を何度も歩きまわっている。国際化時代、我社のベアリングを回転し、ステアリングを操り、虎の住んだことのない、欧米や、アフリカ等を歩きまわっている。千里を駆けるどころが万里を駆けている。虎の住んでいるという東は樺太、西はインド、北はアムール川近辺に仲間を会に行つたことのないのが、残念だ。女房は兎で、子供に虎はいない。兎は虎の

獲物と喜んだが、時が経過してみると食われているのは虎の私だといふのが実感か。さて南方熊楠先生の如く、無限に近い十二支考のように語ることが不可能だが、この世に生まれたすべての人間が、一生に何度か、干支の動物になってみるのも人間の知恵だろう。人が自然や地球や環境のことを意識し、自然の一員として自覚をさせ、生物の共生を考える良いチャンスであり、良い習慣だと思ふ。昨年の牛は、20世紀と21世紀の橋渡しの一

員として、相当の苦難と、激変の中を汗びつしよりととなって、我等虎にバトンタッチをした。しかしこの混沌とした中で、アジアの血をもつタイガーウッズが活躍し、明るい話題を提供してくれた。虎の今年こそは、タイガーイヤーであってほしい。アジア経済の浮上と再構築を願っているからだ。新年に臨み、何となく閉塞感のあるこの時代を、虎族一同の「ウオー」とつて、大音声の叫びをもって、この時代の空気を揺るがし、

突き破り、新しい時代をつくる創造と知恵の芽を育み、夢のある21世紀づくりの基盤を構築したいものだ。昭和13年、全国寅年会の全メンバーの心意気は、今大切な時代の中で、大きく求められている。赤いチャンチャンコを着て明るく楽しい還暦会をやりましょうや。ヴィヤグラ、バグ、ピリ、マチャム、リマウ、ニムル、タイガー、チグリ、李耳、虎寅、トラ世界各地の虎族の皆さん、今年もよろしく。

に出かける。日帰りの温泉巡りの途中で自然に四季を感じる事が出来るのも誠に豊かな気持ちになれる。さて、私たち昭和13年生まれの世代にとっては、高度成長時代の真只中を過ぎて来たこともあり、ベルリンの壁崩壊後の大きな時代の変化に遭遇し、皆様もそれぞれいろいろな感慨をお持ちのことと思います。十年近く経った昨年はまだ安定平衡には程遠い一年でありました。昨年の11月頃、新聞のコラムの元首相マハトマガンジー氏が50年前の当時、七つの社会的な罪として挙げていた項目に記事がありました。示唆的な内容と感じましたので改めて紹介させていただきます。

- 1 原則なき政治。
 - 2 道徳なき商業。
 - 3 労働なき富。
 - 4 人格なき教育。
 - 5 人間性なき科学。
 - 6 良心なき快楽。
 - 7 犠牲なき信仰。
- 皆様にとって今年もよい年でありませうお祈り致します。

機能を解き明かし、活かすべく、研究を進めてまいりました。その結果、白味からは風邪薬に配合されているリゾチームが、殻からはカルシウムが、黄味からはヒトの体になじみ易く脂肪乳剤などに使われるレシチンが取り出され、医薬品化粧品の原料に利用されるようになってきました。おやつと思うものに卵殻膜があります。殻の内側について一見何の変哲もない膜ですが実はミクロの微細な穴が無数にあり、空気を通しやすく水を通しにくい構造になっているのです。これは雛が孵るまでの二十一日間に卵が干からびず、必要な酸素も十分に取り込む知恵であり、生命活動の巧みさを感じる次第です。また、私どもでは黄味に含まれるコリンに大いに注目してきました。コリンは、記憶や学習に関わる神経伝達物質・アセチルコリンの材料になるものです。レーガン元アメリカ大統領が告白し衝撃を与え、一躍知られるようになったアルツハイマー痴呆症はこのアセチルコリンが激減していることが判つています。これを手がかりにして、世界各地で卵以外の素材を使用してコリン補充療法の試みがされましたが、必ずしも良い結果ばかりではありませんでした。そこで大学医学部と共同で研究を進めた結果、卵黄(黄味)コリンは脳の関所を通り易い組織であり、アセチルコリンを効率的に作るビタミンB12と一緒に摂るとさらに良いと

寅年会の皆様、明けましておめでとうござります。私、ここ九州大分の地で4回目の正月を59回目の新たな気持ちで迎えております。この間、濱田会長には何回か当地大分にもご来訪いただき持ち前の素晴らしい雰囲気の中で愉快な寅年会の会合を持つていただきました。この場をお借りして大分地区を代表してお礼申し上げます。さて五十路半ばにして、はじめての単身赴任を、自然が豊かで人情味溢れる大分の地で経験出来ていることは誠に有難い。単身赴任による時間的ゆとりと、地方がそこはかとなく醸し出してくれる気分的なゆとりを授けられ、本来無精物の私にとつては、都市地に在任しては得ることのできる素晴らしい好意を刺激して貰えるのは嬉しい。大分では魚が安いという減法旨い。とくに、関さばの刺し身は絶品で大阪生まれの小生にとつては驚きである。なぜこんなに美味しい

任による時間的ゆとりと、地方がそこはかとなく醸し出してくれる気分的なゆとりを授けられ、本来無精物の私にとつては、都市地に在任しては得ることのできる素晴らしい好意を刺激して貰えるのは嬉しい。大分では魚が安いという減法旨い。とくに、関さばの刺し身は絶品で大阪生まれの小生にとつては驚きである。なぜこんなに美味しい

素人談義の楽しさ

住友化学工業株式会社 取締役大分工場長

土屋 広 (兵庫)



かとの疑問に対し、豊後水道の荒波で育つたとか、釣つたあとの血ぬきの仕方に伝統のあるノウハウがあるとか、旨みの成分であるアミノ酸の構成が異なるとかなどなど、素人談義を傾けながらの一夕は楽しい。また、温泉談義も面白い。都会地では温泉となると温泉旅行が話題となるが、当地大分では様子が異なる。別府を中心としたところ温泉のある当地では、子どもの頃から生活のなかに温泉を取り込んでおられる地元の人たちがおられる。いろいろな場面で繰り広げられる温泉談義に刺激され、それでは私も負けじと知識の習得

温泉巡りの途中で自然に四季を感じる事が出来るのも誠に豊かな気持ちになれる。さて、私たち昭和13年生まれの世代にとっては、高度成長時代の真只中を過ぎて来たこともあり、ベルリンの壁崩壊後の大きな時代の変化に遭遇し、皆様もそれぞれいろいろな感慨をお持ちのことと思います。十年近く経った昨年はまだ安定平衡には程遠い一年でありました。昨年の11月頃、新聞のコラムの元首相マハトマガンジー氏が50年前の当時、七つの社会的な罪として挙げていた項目に記事がありました。示唆的な内容と感じましたので改めて紹介させていただきます。

- 1 原則なき政治。
 - 2 道徳なき商業。
 - 3 労働なき富。
 - 4 人格なき教育。
 - 5 人間性なき科学。
 - 6 良心なき快楽。
 - 7 犠牲なき信仰。
- 皆様にとって今年もよい年でありませうお祈り致します。

「虎族の雄哮びで空気一新を」

光洋精工株式会社 副社長

植松 高豊 (静岡)



私は、明治生まれの蛇と鶏の両親から、中国天津市日本租界で生まれた中国虎である。七人の子の中の一匹虎だ。三匹の虎が家族にいと幸せが来るとのことだが、二匹であった。女房の母虎が参加して三匹となった。家族の繁栄を願っての言い伝えだろう。少子化時代の日本の現在では、暫く現実出来ないことだろうが、幸せは実現してほしいものだ。戦前は、天津、濟南、北京、包頭と北支を歩きまわり日本に帰国した。虎の食物のない焼野

獲物と喜んだが、時が経過してみると食われているのは虎の私だといふのが実感か。さて南方熊楠先生の如く、無限に近い十二支考のように語ることが不可能だが、この世に生まれたすべての人間が、一生に何度か、干支の動物になってみるのも人間の知恵だろう。人が自然や地球や環境のことを意識し、自然の一員として自覚をさせ、生物の共生を考える良いチャンスであり、良い習慣だと思ふ。昨年の牛は、20世紀と21世紀の橋渡しの一

員として、相当の苦難と、激変の中を汗びつしよりととなって、我等虎にバトンタッチをした。しかしこの混沌とした中で、アジアの血をもつタイガーウッズが活躍し、明るい話題を提供してくれた。虎の今年こそは、タイガーイヤーであってほしい。アジア経済の浮上と再構築を願っているからだ。新年に臨み、何となく閉塞感のあるこの時代を、虎族一同の「ウオー」とつて、大音声の叫びをもって、この時代の空気を揺るがし、

突き破り、新しい時代をつくる創造と知恵の芽を育み、夢のある21世紀づくりの基盤を構築したいものだ。昭和13年、全国寅年会の全メンバーの心意気は、今大切な時代の中で、大きく求められている。赤いチャンチャンコを着て明るく楽しい還暦会をやりましょうや。ヴィヤグラ、バグ、ピリ、マチャム、リマウ、ニムル、タイガー、チグリ、李耳、虎寅、トラ世界各地の虎族の皆さん、今年もよろしく。

に出かける。日帰りの温泉巡りの途中で自然に四季を感じる事が出来るのも誠に豊かな気持ちになれる。さて、私たち昭和13年生まれの世代にとっては、高度成長時代の真只中を過ぎて来たこともあり、ベルリンの壁崩壊後の大きな時代の変化に遭遇し、皆様もそれぞれいろいろな感慨をお持ちのことと思います。十年近く経った昨年はまだ安定平衡には程遠い一年でありました。昨年の11月頃、新聞のコラムの元首相マハトマガンジー氏が50年前の当時、七つの社会的な罪として挙げていた項目に記事がありました。示唆的な内容と感じましたので改めて紹介させていただきます。

- 1 原則なき政治。
 - 2 道徳なき商業。
 - 3 労働なき富。
 - 4 人格なき教育。
 - 5 人間性なき科学。
 - 6 良心なき快楽。
 - 7 犠牲なき信仰。
- 皆様にとって今年もよい年でありませうお祈り致します。

謹賀新年 平成十年元旦

大願グループ

環境を守り、社会に役立つ 企業をめざします

Zero Emission

～全ての廃棄物を100%リサイクル～

社是

今日生かされている

自分に感謝の心を持ち

我に悔いのない

粹に感じる人生を創ろう

大願グループ

松川明司

銀座のオンナ

田崎真珠株式会社

常務取締役

芝原 茂信 (長崎)



いつ体、日本に銀座と名の付く地名や街は幾つあるのかは確かではないが、以前何かの記事で読んだ記憶では千数百ヶ所あったと思ふ。東京銀座が本家であることは勿論だが、地名の起りは、江戸時代、此処に銀貨の鑄造所があり、定期的に市がたつた事に由来するそうだが、今では世界的な繁華街であり、高級とか、高いと云うイメージ、ステータスの代名詞にも使われている銀座。

今年も地価日本一は、銀座五丁目の鳩居堂と発表されたが、私も縁あって昨年十月に鳩居堂の隣りに当社直営では五十番目の拠点を開設した。かつては全く出廻る物件ではなかったが、まさに縁あってとしか表現の仕様がなない。十階建て田崎ジュエリータワービルと名付けた。銀座は一日に三十数万人の人達が繰り出す、土、日、祝日もなると、その数倍の人波が押し寄せる処だ。

それにしても男の方はたまったものではない。最近では不景気と云う言葉すら何やら陳腐化したように聞こえてならないが、こと銀座の女性達をみる限りにおいて不況どこ吹く風である。ところが同じ銀座でも七丁目、八丁目の大通りよりひと筋中に入ると、かつてパブル花やかかりし頃の面影はどこへやら、閑古鳥が鳴くとほまきこの事かと云う有様である。

日本の表と裏、男と女の姿をかくも鮮明に表現する街、それが東京銀座である。然しながら人間誰しも高級なものがないはずがない。そうそう手が出ない丈のことである。私も、この拠点色々と論議した結果、五階をミュージアム、六階に小さなサロンを設けることにした。特定のお客様に限り無料でご利用頂くことにした。美人のサービス付と迄は今のところいかないけれど、飲物等はご自由にと云う趣向です。全国青年会の皆様受付で会員であることをおっしゃって頂き、会合や、休憩、デート等に自由にお使い下さい。いつ杯やりながら次なる策を巡らすには格好の場所と思えます。

いつ体、何処にそれ程の魅力があるのか。消費大国ニッポン、いまだ健在、女性達のあくなきブランド指向、それに呼応するように世界のブランドが集まる街。ここ数年で半径二百メートル以内に、世界の有名ブランドが大方出揃ったようだ。この街をながめ、又ショッピングをすることの楽しさは、当人達にとつては我々凡人の想像以上のものがあり、銀座ならではの格別な思いがあるようだ。

新年明けましておめでとございます。寅年会の皆様にはお健かに新年をお迎えのことと、心からお喜び申しあげます。昨年の私共ビール、

年頭雑感

サッポロビール株式会社

取締役名古屋支店社長

伊藤 元夫 (石川)



き、当分ハビリをしないといふこともできないといふことは、多くの方が御存知でしょう。また傷病で寝たきりになると若い人でも足腰が立たなくなることも身近に見聞きしておられることでしょう。人間の身体は、骨でも筋肉でも使うことにより負荷をかけていないと退化して行くといふことです。

清涼飲料業界を振り返ってみますと、余り良い年とは云えませんが、ビールは夏場の天候不順と飲料業界の不振これは消費増税と官も民も交際費支出の自粛などの影響を大きく受けた。ビールの売上を左右する要素は俗に「三二気」と云われておりますが、天気と景気と人気であります。

今年で昭和十二年、寅年生まれは還暦を迎え一応停年であります。しかし今の気持はともハッピーリタイヤという心境にはなれません。経済の動向が気になり、とてもリタイヤする気になれないのは小生ばかりでしょうか。

元来日本は、経済の成長力に支えられて発展してきた人口過密な島国です。政府は需

政府の公共投資の抑制、住宅やクルマの売上不振、ハイテク企業の競争力の低下、アジア経済の変調による輸出への影響、こう数えていくと、まるで不景気の総合病院のような感じが致します。二〇〇五年の愛知での国際博覧会の開催や中部国際新空港の建設は、将来の明るいニュースですが、当面の経済効果は期待できません。

今年も昨年以上にけわしい坂道を登る覚悟はしております。サッポロビールを愛飲いただいているお客様、サッポロビール社を支持していただいている流通の皆様のご期待にお応えするべく、昨年に倍する努力を致したいと思っております。

要を拡大し、景気の回復すべき時に、逆に大なる増税と公共投資の圧縮によって景気を冷却させてしまいました。マクロに経済をとらえ、財政健全化至上主義はひとまずおいて、減税と公共投資を増加させ、有効需要を喚起する政策転換を執行しないと、日本株式会社は倒産しかねません。

「廃用性萎縮」

川崎製鉄株式会社

常務取締役

山本 貞一 (石川)



他の動物でも植物でも同じことが言え、生物の進化、退化の基本的仕組みに通ずるものがあります。さらに恐ろしいことに、頭脳にも同様のことが言えるらしいのです。

官庁でも不十分ながら今大いに議論されているところですが、さあどうなりますか。一方、組織におけるトップ人事については、廃用性萎縮の原則があり働いていないケースもあるように報道されております。御本人にとつては、権力欲、使命感などでポストをキープしているつもりはなくて、廃用性萎縮に陥ると本能的に避けられておられる結果なのかも知れません。でも、個人の事情が組織ではあまり強く出ない方がいいのでしょうか。

何もトップの方々に限らず、リタイアした後、心身ともに廃用性萎縮に見舞われぬ様、身体、頭脳を使うべき身につけることが大切の方です。還暦を迎える各々方、お気を付けましょう。

医療法人 五風会 さっぽろ香雪病院

理事長 院長 森 一也

〒062-0000 札幌市豊平区真栄319番地
TEL 011-884-6878 (代表)
FAX 011-884-6731

医療法人 とうようかい 桐葉会

精神・神経・内科・歯科 木島病院
精神障害者社会復帰施設
介護寮 コミュニティ・ヴィレッジ
通所授産施設 コミュニティ・プラザ
老人健施設 コスモス楽寿苑

院長 南 良武
理事長

〒597-0044 大阪府貝塚市森892
TEL 0724-46-2158
FAX 0724-47-0600

医療法人 祥星会 聖ヶ丘病院

理事長 田所 美佳

〒788-0051 高知県宿毛市押ノ川1106
TEL 0880-63-2146 (代表)
FAX 0880-63-2432

医療法人 雄風会

理事長 生長 豊健

あしもり内科クリニック
〒701-1464 岡山市下足守1900-1
TEL 0862-95-1133 (代表)
加茂川診療所
〒709-2331 岡山県津部郡加茂川町
下加茂1402-8
TEL 08673-4-1661

名古屋に住んでみて

伊藤忠商事株式会社
常務取締役

福本 昌弘 (大阪)



明けておめでとうございます。一九九八年が皆様にとって良い年であり、皆様様にお祈り申し上げます。昨年の五月に名古屋に転勤して参りましたが、私にとりては名古屋はまったく未知の世界。名古屋ほど「名古屋」という解説書が出ていない町は、日本

出の業務が中心であり、国内の仕事が中心の名古屋に住んで見た感想を述べたいと思えます。一言で云えば、こんなに住みやすい都市は、日本では一番か二番だと思えます。戦後の焼け跡に、しっかりとした都市計画に基づき、外国に遜色の無い広い道路が作られており、又道路には、殆んど道路名がついており、又町中に道路名表示があり簡単に目的地に行く事が出来るのは外国では出来ません。名古屋が日本では名古屋が一番だと思えます。名古屋の人口は二十万ですが、いわゆる都市生活を楽しむのには最適の規模ではないかと思えます。私も名古屋の中心に住んでいますが、東京の郊外に住んでいた時に比べると、通勤時間を考えると、人生が一日につき、二時間延びたのではないかと、その余暇の時間を本当に楽しんでい

ます。又、この規模の人口があるお陰で、美術館も充実しており、結果素晴らしい美術展が開催されるとか、音楽会も次々と素晴らしい公演を楽しめる事が出て来ます。昨年「MET」のオペラは名古屋から公演が始まるという具合で、東京では切符が手にはいらぬので、名古屋までわざわざ来名される人々がいるくらいです。又忘れてはならないのは、豊かな尾張徳川藩の伝統が脈々と引きつがれており、邦楽が現在でも盛んであり、名古屋にきた転勤族の中で小唄を習って楽しんでる人々も結構おられます。私も一宮のお客を訪問すると抹茶とおいしい和菓子を出して頂く事も多く茶道の教養のない私にとりて恥をかくことも多いですが、この余裕を楽しんでいきます。私のWifeに云わせれば、名古屋の和菓子は京都を抜いて、日本一だと喜んでいました。名古屋の人々は排他的だと云われていますが、私は決してその様に思っておりません。名古屋の人々は一寸とシャイであり、自分から出て行くことは少ないが、自分から名古屋に駆けこんでくる人々は暖かく受け入れて頂いていると思えます。昔から「住めば都」と云いますが、私にとりては、まさに名古屋生活を本当に楽しんでる毎日です。

れば巡ってくるのに、振り返ってみると先回は昭和六十年、たまたま小生が、ドイツに駐在していた時期に当たり、新年とか、お正月という心持が稀薄なうたせいかも知れませんが、従って久しぶりには、二十四年振りとの思いとなつたのでしよう。その「久しぶり」の先回の寅年は小生にとりてもう一つの重要な虎が二十一年振りに優勝した頃であり、どうしてこの事に思いを致すことになりました。終戦直後の昭和二十一年、疎開から帰った子供達に、貧しくとも夢多き気持ちにさせたのは「リンゴの唄」等でもありますが、何と云つても、赤バット・青バット・そして物干し竿バット藤村富美男率いる阪神タイガースだったのであります。あの懐かしの猛虎軍なのです。以来五十年余、幾度も辛い思いさせられながら、浮気することなく必死に「虎」に忠誠を誓い続けてきたのが、世に言うところの「阪神ファン」ト「ラキチ」と言う、社会問題を生じせしめたわけでありました。不肖小生もこの創世の期に本問題の一翼を担う存在だったのであります。そこで虎が優勝した昭和六十年は、虎年の前年だったのですが、小生駐在の地ハンブルクの虎達にとりても忘れ得ぬ年となつたのです。秋も深まる頃には、加えて日本一となり、

ハンブルクでは日本料理屋に集いし虎達が、まさに大とらとなり、夜更けてというか、明けの頃というか、寅の刻ようやく車で帰宅により出勤したボスに一網打尽、捕らえらるるところとなり、六ヶ月の免停となつた虎、多数と言う事件もあり、吾が虎は止むなき用務にて参加出来ず、残念だったのが運が良かったかどうか。そして年末大晦日には、取り寄せた日本シリーズビデオ観戦の御誘い有り、酒をちびりとやりながら、結果の分かつては試合を、また酒をちびりとやりつつ観戦となり、小生の少なからぬ人生の中で、あれほど感激したことはなかった、まさに虎ファンとしては苦節二十年余、苦勞が実つたとの想いであつたわけでありました。そしてこの年末から十二年余、寅年の前年も過ぎいよいよ寅年となり、そろそろ機も熟した頃かと勝手に思つておりました。本年は本当の虎寅年になるのかも、と期待しているのです。

情報化時代の経営者に パソコンは必須



日本電通建設株式会社
取締役・総務部長
近藤 欣司 (埼玉)

皆様、明けましておめでとうございます。今年も我々一同イヤでも還暦を迎える年となりました。過ぎて来た60年は、我国にとりて有史以来の大激動の時代であり、大戦後の科学技術の進歩は将に驚異的、最近登場した腕時計型の携帯電話は、これまでは

FBIかKGBの世界の話でありました。情報を制する者は世界を制す、とまで云われる通り、携帯電話だけでなく、パソコンもこの3、4年に爆発的に普及を始め、ほとんどの会社のオフィスでは、一人一台の時代を迎えております。しかしながら、我が

会の方々の中にはパソコンはとも、と言われる方が多いように思われますが、如何でしょうか？ これからの時代は、電話や放送(TVやCATV)にパソコンが絡んで、携帯電話と同様に、個人と個人の間で映像と音声が双方向に繋がる様になるでしょう。パソコンも、以前に比べると操作性も大変良くなって、使いやすくなつてきました。携帯電話もそうですが、あまのりという機能が付き過ぎて、全部使い切っている人はほとんどいないのと同様に、パソコンも技術屋好みの高性能を競つてきました。これからは家庭の主婦やお年寄りでも使える様、簡単な操

作に必要な情報が交換できる便利さが勝負となります。パソコンが苦手と云う皆さんも、これからは是非「インターネット」までは、挑戦して下さい。なぜかと云いますと、情報は自分で

判断しなければならぬからです。私は、かつて自衛隊に勤務しておりましたが、軍事情報は意図的に「嘘」を流すことがあり、それが真に役立つ情報であるかを見分けることが、作戦計画立案の第一歩でした。企業情報でも同様で、情報通信が発達すればするほど情報が乱れ飛び、パソコン技術者や経験の浅い者に情報を提供させておくのは大変危険です。その点、社長や取締役となれば

寅年に虎から一言

日本航空株式会社
常務取締役
横山 善太 (神奈川)



寅年の皆様、明けましておめでとうございます。

今年はいよいよ還暦の年でもあり、節目の年として大いに期待しているところでもあります。年末に東京地区の寅年会で辻田様(元札幌地方検察庁検事)から千支の寅人形を頂戴しました。「来年は寅歳なんだ」とあらためて思うに、「ずいぶん久しぶりだなあ」との思いがしたのです。十二年す

れば巡ってくるのに、振り返ってみると先回は昭和六十年、たまたま小生が、ドイツに駐在していた時期に当たり、新年とか、お正月という心持が稀薄なうたせいかも知れませんが、従って久しぶりには、二十四年振りとの思いとなつたのでしよう。その「久しぶり」の先回の寅年は小生にとりてもう一つの重要な虎が二十一年振りに優勝した頃であり、どうしてこの事に思いを致すことになりました。終戦直後の昭和二十一年、疎開から帰った子供達に、貧しくとも夢多き気持ちにさせたのは「リンゴの唄」等でもありますが、何と云つても、赤バット・青バット・そして物干し竿バット藤村富美男率いる阪神タイガースだったのであります。あの懐かしの猛虎軍なのです。以来五十年余、幾度も辛い思いさせられながら、浮気することなく必死に「虎」に忠誠を誓い続けてきたのが、世に言うところの「阪神ファン」ト「ラキチ」と言う、社会問題を生じせしめたわけでありました。不肖小生もこの創世の期に本問題の一翼を担う存在だったのであります。そこで虎が優勝した昭和六十年は、虎年の前年だったのですが、小生駐在の地ハンブルクの虎達にとりても忘れ得ぬ年となつたのです。秋も深まる頃には、加えて日本一となり、

ハンブルクでは日本料理屋に集いし虎達が、まさに大とらとなり、夜更けてというか、明けの頃というか、寅の刻ようやく車で帰宅により出勤したボスに一網打尽、捕らえらるるところとなり、六ヶ月の免停となつた虎、多数と言う事件もあり、吾が虎は止むなき用務にて参加出来ず、残念だったのが運が良かったかどうか。そして年末大晦日には、取り寄せた日本シリーズビデオ観戦の御誘い有り、酒をちびりとやりながら、結果の分かつては試合を、また酒をちびりとやりつつ観戦となり、小生の少なからぬ人生の中で、あれほど感激したことはなかった、まさに虎ファンとしては苦節二十年余、苦勞が実つたとの想いであつたわけでありました。そしてこの年末から十二年余、寅年の前年も過ぎいよいよ寅年となり、そろそろ機も熟した頃かと勝手に思つておりました。本年は本当の虎寅年になるのかも、と期待しているのです。

安くて良い 住宅の供給に 総力をあげる

株式会社ジョーコーポレーション
城建設有限会社
代表取締役社長 城下 堅司
奈良県五条市田園3丁目21-1
TEL 07472-2-9351~5
大阪市天王寺区上本町8丁目2-11
TEL 06-771-5961



「二十一世紀への期待」

近畿通信建設株式会社
取締役社長

林 信幸 (岩手)



明けましておめでとうございませう。平成十年は二十一世紀へのカウントダウンが始まっています。中で、新しいパラダイムに転換する過渡期になるであろう。昨年は金融・証券不安もあり、景気は足踏み状態であったが、新しい年へ期待をこめて、今世紀初の頭の予言を紹介しよう。

約百年前、明治三十四年、新年を寿ぎ報知新聞が「二十一世紀の予言」を掲載した。夢物語の非科学的な予言もあるものの、「地下鉄」や、「七日間世界一周」は、今では当たり前。「台風と地震のコントロール」とか「人間と動物の会話」は実用化していないが、情報通信分野にあつては予測以上の発展を遂げている。

その一つは、イタリアの発明家マルコニが明治二十九年に考案した無線電信技術である。この技術が「東京に在るものが倫敦に在るも友人と自由に対話することを得べし」と、

可能性に期待がもたれていた。当時の無線は雑音が多く、専門家ですらようやく判別できる状況にあつたが、今では世界のどこでも、隣人と話しているように聞かせる。街角や駅で歩きながら電話を片手に通話している主婦や学生を見たら、マルコニ氏は何と言つて驚くであろう。

さらに、「遠距離にある品物を鑑定し、かつ売買契約を整え、その品物を地下鉄管の装置により瞬時に落手することを得ん」とある。ハードイメージの物品輸送システムは社会的インフラとなつていないが、インターネットやテレビ等で買物の契約や鑑定、情報の授受は完全にできる。

驚異的發展をもたらした日本の社会経済システムは現在、抜本的な構造改革が求められているが、昭和十三年寅年会の年代が我国の社会経済を支え、共に成長

発展をしてきたといえる。当然ながら、残念にも寅年会の面々も年齢的には一齐に六十歳を迎えることになるが「還暦」という言葉は赤いチャンチャンコを連想し、どうしても好きになれない。孔子の言葉で六十歳の異称「耳順」は広

辞苑によると「修養ますます進み、聞く所理にかなへば何ら障害なく理解できるとあり、こちら言葉の方まだ「虎嘯けば風騒ぐ」寅年会のイメージにふさわしい。二十一世紀はマルチメディアの時代といわれており、人間のような意思と感情を

もった人工知能や自動翻訳等々、技術が進むと思うが、「耳順」を以つて変化に挑戦する意欲と気力を持ち続けてゆきたい。

従うほかないのか。私見の一端を披瀝させていたと、三ツ子の魂説に近似してしまうのだが、早生まれも成年に達してついに積年のハンデを克服したあとは「先頭」にたつてカッ歩する「ことも不可能とはいかない。ではあるが悲しいかな、その場合往々にして一種の努力感とでもいうべきものを払拭することができない。すなわち自然にふるまうて自ら然アル、のではなく、ケナゲにガンバツた成果として、つまり成功報酬として、それは勝ち取られるにすぎないので。悔しいです。ねえこれはいささかしかるに、お、わが「寅年会」は当然のことながら四月から起算する年度制ではなくして、一月起算の歴年制だ。やつたぞ！我々は兄貴ぶんなのだ！我ら早生まれ族は今や自ずカラ然アルままに、一足お先に還暦なのだ！あつはつは、悔しかつたら追いついてこらん！いい気分です。ねえ！

早生まれ族の凱歌

株式会社東京放送
専務取締役

中澤 忠正 (東京)



誕生日が二月二十二日、いわゆる早生まれです。この「寅年会」のメンバーの中には比較的早めに還暦を迎える仲間一人ということがある。それはそれで結構(?)であるとして、ここでふと妙なことに気がつきました。小学校に入学した当

日、いわゆる早生まれの国であったアメリカの匂いを発散させるムードで男性的な防具の数には私に強烈なインパクトを与えました。しかしこのAFとの最初の出合いは結局自らがAFプレイヤーになることとは結びつかないものでした。しかも関西の雄「関学」に入学しながら「関学」の間の心理分析は未だ出来ていません。誠に残念ではありましたがプレイ出来なかつた反動からかAFへの思いはより強く強くなり国内では勿論米出国の際には、無理をしてチケットを入

座、早生まれの学童はいかに幼い私も身長順に小さいほうから整列させられると前から三人めでした。身体だけでなく、精神状況その他もろもろ、ぼぼ丸一年は成長が遅れている。この年頃の子供にとつて、このハンデは決定的です。とうていかないませぬ。兄貴風を吹かせたがる早生まれ族の面々には、あ、これはついに理解してもらえないだろうなあ。必然的に、と言つていいと思いますが、早生まれは「あとからついて行く」という行動パターンを幼少にして身につけることと相成ります。

で、その後の人生においてこの早生まれ族の行動パターンは、はたして矯正されるものなのか、それとも三ツ子の魂という通則に

手シスタディアムに足を運びました。またルールブックや専門誌を読みあさり、更に親の夢を子に託し関学の中学部から大学までAF漬けにし、その結果このAF二代目のクレイジーは結婚しても未だ足を洗わず周囲の人達に迷惑をかけているようです。事前の徹底した情報分析、専門化分業化、その中での特長システム、ハイテクを駆使した各

私とアメリカンフットボール



ユニチカ株式会社
常務取締役

長谷川 喜明 (兵庫)

明けましておめでとうございませう。この寅年会の新聞が皆様の手に届く頃は97年のアメリカンフットボールの日本一が決定してい

ると思ひますが、毎年秋から冬にかけてのシーズン、日本の大リーグ戦に加え、本場米国のカレッジとプロの

フットボールのビッグゲームがケーブルテレビなどで連日放送されています。おつき合いのゴルフと母校関西学院の試合日が重なる時などは「仮病を使つても観戦に行きたい」と思ひます。冒頭からアメリカンフットボール(以下AFと略します)の話で恐縮ですが私がAFの魅力にとりつかれたきっかけは、もう四十数年前も前のことになりました。神戸元

町の古着屋のガラタタの中に鏡兜のような各種防具やヘルメットが置いてあり、店の人が「これは米軍の私下げ品でAFというスポーツの……」とくわしく説明を聞いた事を今でもはつきりとおぼえています。AFのプロテクターやヘルムは、現在では軽量の素晴らしい材料が使用され、とても恰好良いものですが、古着屋のそれは、どれもサイズが桁はずれに大きく、見るからに格闘技を連想させる粗削りなものばかりでした。三宮から元町へと続くエキゾチックな町のム

理をよめるか、お、わが「寅年会」は当然のことながら四月から起算する年度制ではなくして、一月起算の歴年制だ。やつたぞ！我々は兄貴ぶんなのだ！我ら早生まれ族は今や自ずカラ然アルままに、一足お先に還暦なのだ！あつはつは、悔しかつたら追いついてこらん！いい気分です。ねえ！

理ギア、そして華麗さ等々AFの魅力はいかにもアメリカ的で開放的且明るいスポーツと云えます。最近はずいぶん西宮スタジアムへ行く時間もままならず、海外での仕事も米国よりも、中国東南アジア中心で専らビデオライブラリーを楽しんでおります。寅年会の皆様も是非一度お近くのスタンドで観戦して見ませんか？

見ませんか？

謹賀新年

総合建設業
南成建設株式会社

代表取締役 **稗田 寛**

本社 大分市新川町2丁目5番45号
電話(0975) 33-2371番
FAX(0975) 38-2006番

福岡営業所 福岡市博多区那珂6丁目那珂ファンビルA
電話(092) 473-6220番
FAX(092) 473-2008番



関東寅年会 平成9年12月11日八重洲富士屋ホテル



全国大会 平成9年7月17日南海サウスタワーホテル

KANO
(株)カノー代理店

温泉 堀削
温泉 設備
温泉 プール

株式会社 **リプロ大阪支店**

専務取締役
大阪支店長 **荒田 輝雄**

〒540-0012 大阪市中央区谷町2-5-4
インテリジェントインフタバ10F
TEL (06)910-8520 FAX (06)910-6162

近畿 幹事名

- 安部 栄治(兵庫・空港周辺整備機構理事)
谷口 文夫(三重・大阪府監査委員室代表監査委員)
中山 禎輝(大阪・京都府企画理事)
高橋 隆(京都・京都大学医学部教授)
有本 雄美(兵庫・大阪ガス専務取締役)
池田 昭彦(滋賀・近畿コカ・コーラボトリング社長)
宇多小路勝(京都・住友特殊金属専務取締役)
上田 裕章(大阪・乃村工業社専務取締役)
本橋 高豊(静岡・光洋精工副社長)
尾崎吉兵衛(大阪・トーマン専務取締役)
大林 孝三(兵庫・フットワークインターナショナル社長)
大嶋 進治(新潟・蝶理常務取締役)
大庭 康正(兵庫・日本触媒常務取締役)
大橋 昌雄(富山・松下冷機専務取締役)
大谷 貞彦(東京・富士車輛専務取締役)
河村 敏男(愛媛・T O A 取締役)
木地 隆文(和歌山・バンドー化学常務取締役)
森原 達朗(静岡・大阪製鐵社長)
近藤 周平(大阪・阪神百貨店副社長)
佐藤 雅夫(大阪・東映取締役)
佐久間彰三(福島・日本国土開発専務取締役)
白岩 宏(鳥根・三井物産取締役)
住江 漢(兵庫・伊藤忠商事副社長)
田崎征次郎(長崎・田崎真珠専務取締役)
高田 靖彦(岡山・阪急電鉄常務取締役)
高橋 國展(福井・山陽特殊製鋼専務取締役)
東郷 武(兵庫・大和ハウス工業副社長)
中岡 進(兵庫・イチケン専務取締役)
中嶋 成光(東京・福助取締役)
仲西 隆(奈良・南都銀行専務取締役)
納谷 幹夫(秋田・ミノルタ取締役)
花房正次郎(兵庫・新井組社長)
林 信幸(岩手・近畿通信建設社長)
長谷川喜明(兵庫・ユニチカ常務取締役)
浜端 謙三(長崎・日立造船常務取締役)
樋口 武男(大阪・大和団地社長)
廣瀬 吉彦(東京・アーバンライフ社長)
廣田 雅良(兵庫・ダイヘン専務取締役)
平戸 康弘(石川・吉本興業取締役)
本田 龍三(大阪・大阪スタヂアム興業専務取締役)
本多 朗理(長崎・積水ハウス常務取締役)
水越 浩士(東京・神戸製鋼所副社長)
宮武健次郎(大阪・大日本製薬専務取締役)
村井 繁信(大阪・関西電力取締役)
村上謙一郎(岡山・清水建設専務取締役)
森崎 中(香川・日ハム専務取締役)
山本 勇(大阪・クラボウ常務取締役)
山中 克己(大阪・ザ・バック常務取締役)
綿石 正博(広島・南海電気鉄道常務取締役)
※濱田 守久(高知・大阪経済倶楽部会長)

東海 幹事名

- 坪井 敏之(愛知・愛知県民生部長)
大谷 勲(石川・岐阜大学医学部教授)
内川 晋(佐賀・トヨタ自動車常務取締役)
加藤 千磨(愛知・名古屋銀行頭取)
遠藤 司郎(山形・豊田自動織機製作所常務取締役)
小島 映孝(三重・住友電装常務取締役)
後藤 尚志(愛知・日新製鋼常務取締役)
西垣 博之(岐阜・大垣共立銀行取締役)
古川 治次(鹿児島・三菱商事常務取締役)
徳本 昌弘(大阪・伊藤忠商事常務取締役)
前川 哲郎(富山・セントラルファイナンス副社長)
三品征三郎(愛知・ニチメン常務取締役)
三井 隆(愛知・アイカ工業常務取締役)
矢野 武(愛知・新東工業社長)
結城 司(茨城・愛知機械工業取締役)
若林 忠(長野・豊田通商常勤監査役)
濱田 守久(高知・大阪経済倶楽部会長)
※田口義嘉壽(岐阜・西濃運輸社長)

関東 幹事名

- 伊藤 博行(愛知・住宅金融公庫副総裁)
鹿島 尚武(東京・住宅・都市整備公団副総裁)
坂本 久(香川・参議院法制局法制次長)
河野 吉弘(東京・通商産業省顧問)
角南 立(東京・中小企業金融公庫副総裁)
瀬田 公和(山梨・環境衛生金融公庫理事)
丹波 寛(旧外地・外務省外務審議官)
武智 敏夫(愛媛・農畜産業振興事業団副理事)
中島 孝夫(東京・会計検査院事務総長)
長瀬 要石(長野・海外経済協力基金副総裁)
黒川 高秀(大阪・東京大学医学部教授)
青木 繁(東京・三菱地所常務取締役)
相原 宏徳(愛媛・三菱商事常務取締役)
猪熊 研二(兵庫・新日本製鐵常務取締役)
石川 俊満(福岡・帝人常務取締役)
磯山 隆夫(東京・東京海上火災保険専務取締役)
石岡 俊也(北海道・ハザマ常務取締役)
石橋 正(北海道・日立製作所常務取締役)
石村 和清(東京・ヤマハ社長)
稲尾 勝三(神奈川・古河電気工業常務取締役)
櫻本 恵一(香川・ジャスコ専務取締役)
大山 勲介(石川・キュービー専務取締役)
岡村 正(東京・芝浦製糖取締役)
岡本 利明(熊本・旭化成工業常務取締役)
加藤 丈夫(東京・富士電機専務取締役)
兼子 勲(東京・日本航空専務取締役)
金丸 隆充(大分・サンウエーブ工業社長)
川合 勝(東京・鹿島専務取締役)
衣笠 美弘(大阪・クボタ取締役)
佐々木基進(広島・コスモ石油常務取締役)
佐藤 信武(新潟・イトーヨーカ堂副社長)
相楽 敏夫(福岡・日本板硝子常務取締役)
志賀 正毅(新潟・東急建設取締役)
角 忠夫(三重・芝浦製作所社長)
田部井正己(東京・第一生命保険専務取締役)
田辺 信(大阪・日本信販専務取締役)
田中 英夫(静岡・静岡銀行専務取締役)
武市 章(徳島・東京ガス取締役)
武岡 茂生(東京・大成建設常務取締役)
高木 勝彦(岐阜・富士重工業常務取締役)
谷口 正次(広島・秩父小野田専務取締役)
玉井 充(愛媛・キャノン販売取締役)
鶴田 治樹(東京・高砂香料工業専務取締役)
利光 國夫(東京・小田急電鉄専務取締役)
遠山 智(兵庫・三菱自動車工業常務取締役)
十河 金光(大阪・ナイガイ取締役)
土手 重治(高知・NKK副社長)
中神 靖雄(東京・三菱重工業常務取締役)
中澤 忠正(長野・東京放送専務取締役)
中野 利之(愛知・INAX専務取締役)
南学 政明(東京・三菱電機常務取締役)
成川 浩一(東京・住友商事取締役)
福永 茂樹(鹿児島・クリナップ取締役)
細谷 昌平(愛知・不動建設専務取締役)
真鍋 長久(福岡・明治乳業常務取締役)
松下 正幸(奈良・三菱石油副社長)
松本 祐一(高知・三菱化学常務取締役)
前田 格義(神奈川・和光証券常務取締役)
前川日出夫(岡山・シチズン時計専務取締役)
水谷 哲(愛知・ダイキン工業常務取締役)
湊 勝二(富山・石川島播磨重工業取締役)
宮崎 文雄(奈良・鉄建建設取締役)
茂木賢三郎(千葉・キッコーマン常務取締役)
八木 基雄(東京・住友金属工業常務取締役)
矢野洋一郎(鳥根・青木建設社長)
山本 貞一(石川・川崎製鐵常務取締役)
山脇 利捷(福井・松下電器産業常務取締役)
山田 勝康(東京・清水建設常務取締役)
吉崎 通一(神奈川・熊谷組専務取締役)
吉野平八郎(兵庫・マルエツ専務取締役)
吉田 満(大阪・銭高組常務取締役)
※濱田 守久(高知・大阪経済倶楽部会長)

新年例会

- 1月14日(水) 東海寅年会
18:30名古屋観光ホテル
講師 大矢建設社長 大矢 佳正氏
1月21日(水) 近畿寅年会
18:30ホテル阪神
講師 上海社会科学院市場調査所主任研究員 方 五二氏
2月12日(木) 関東寅年会
18:30八重洲富士屋ホテル
講師 上海市副市长 赵启 正氏

この会の構成

国会議員、省庁部長以上、都、道、府、県、市(市は衛生都市含まず)部長以上、上場企業役員、大学は医学部教授。

※この会は一度例会に出席されますと、永久に資格を得ることになります。入会金はいただいておりません。この会を運営維持していくため、維持費として年間¥10,000を頂いております。

ぜひご協力の程、よろしくお願いたします。

振込先

- ◎関東寅年会
東京三菱銀行大阪支店(店No.520)
普通預金口座No.0597003
名義 関東昭和13年寅年会 幹事 濱田 守久
◎東海寅年会
東海銀行本店営業部
普通預金口座No.3386543
名義 東海昭和13年寅年会 幹事 田口 義嘉壽
◎近畿寅年会
東京三菱銀行大阪支店(店No.520)
普通預金口座No.0401951
名義 近畿昭和13年寅年会 幹事 濱田 守久

平成8年度 収支明細

Table with 3 columns: Category, Amount, Total. Includes sections for '収入の部' (Income) and '支出の部' (Expenses) with various sub-items like '維持会費', '印刷費', '通信費', etc.

Table listing members and their roles: 理事 (Councilors), 常務理事 (Executive Councilors), 専務理事 (Special Executive Councilors), 副理事長 (Deputy Chairman), 理事長 (Chairman), 会長 (President), 名譽会長 (Honorary President), 顧問 (Advisor), 参議院議員 (Senator), 顧問 (Advisor). Includes names like 佐藤 道夫, 緒方 重威, 吉永 祐介, etc.